

令和3年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	南与野第1自転車駐車場ほか5施設(Cグループ 中央区)
(2)施設概要	<p>①所在地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南与野第1自転車駐車場(中央区鈴谷2丁目1221番地) ・南与野第2自転車駐車場(中央区鈴谷1丁目513番地) ・与野本町第1自転車駐車場(中央区本町東2丁目128番地) ・与野本町第2自転車駐車場(中央区本町東1丁目99番地) ・与野駅西口臨時自転車駐車場(中央区大字下落合1055番地) ・けやきひろば自転車駐車場(中央区新都心10番地) <p>②施設の設置目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車等利用者の利便性を図るため <p>③施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車等駐車場
(3)指定管理者	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
(4)指定期間、管理経費	<p>①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②管理経費(直近3か年) 令和元年度61,287千円、令和2年度59,924千円、令和3年度58,310千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 6月(利用が安定する時期)の利用状況は、令和2年度が2,535台/日、令和3年度が2,436台/日でした。</p> <p>◇業務実施状況 自転車等駐車場の利用許可や利用料金の収入及び還付に関する業務を行いました。</p> <p>②維持管理業務の状況 植栽管理業務、シャッター保守点検業務、消防用設備点検業務、自転車駐車場の施設及び設備の維持管理に関する業務を行いました。</p>
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入59,173千円 (前年度58,040千円) <p>②支出(実績額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 30,723千円 (前年度 31,504千円) ・事務費 11,391千円 (前年度 11,018千円) ・施設管理費 6,084千円 (前年度 6,823千円) ・事業費 3,564千円 (前年度 3,424千円) <p>③納付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入-管理経費 864千円(前年度 0千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>実施期間: 令和3年11月15日～11月30日</p> <p>利用者アンケート及び市民からいただきましたご意見等に基づき、与野駅西口臨時自転車駐車場の一部照明をLED化しました。</p> <p>また、全ての現場において簡易レインコートの無料配布を開始致しました。全管理室に配備しており、急な降雨の際に助かるとお客様より感謝の言葉を頂戴しました。こちらのサービスは引き続き実施して参ります。</p>
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
サービス向上への取り組み	弊社のWEB定期管理システム(ECOPOOL)は、契約から支払い等全ての手続きをWEBで行う為、コロナ禍における感染対策においても大きな役割を果たすことから、変わらぬサービスの提供と利用促進を行いました。施設内においては、簡易レインコートを無料配布するなど、情勢に併せたご利用者様へのサービス提供を行い、施設の活気を取り戻すことを念頭にいたした管理運用に努めました。
新型コロナウイルス感染症対策(継続)	駐輪場スタッフにはマスクの着用、接客時のソーシャルディスタンスの確保、こまめな手洗い、消毒、うがい等の基本的な感染対策の継続を徹底するとともに、これまでにコロナ禍で得た情報や知識の活用と、最新情報の取得を積極的に行い、各現場スタッフへも都度情報を展開しました。さいたま市とも危機管理にあたり情報共有に努め、情勢の変化にも対応しました。対策の継続と、情報の更新を実践することで必要な備えを怠りませんでした。
利用促進に向けての取り組み	人流増加に伴い、南与野第一自転車駐車場では定期利用区画が満車となりました。南与野第一自転車駐車場のご利用を希望しキャンセル待ちの皆様にも、契約者の増加により契約までには時間を要すること、南与野第二自転車駐車場の定期利用には空きがあり、即時契約が可能である現状を現場スタッフ並びに弊社サポートセンターでも共有し、24時間365日これらの事情をお伝えできる体制を構築したことで、利用促進につなげました。 また、与野駅西口臨時自転車駐車場では利用が減少した定期利用置場の一部を一時利用の置場として使用する取り組みも継続しました。
管理員のスキル向上への取り組み	令和3年度の管理員研修についても対人での研修は控え、場長への書面による研修を計14回実施し、場長から各現場への展開を行いました。また、シルバー人材センターとも連携を図り、情報共有に努めました。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

<p>令和3年度も引き続き「コロナ禍」と言われる状況下にありました。テレワークやオンライン授業など様々な生活様式が定着したこともあり、その影響が現在の自転車駐車場運営にも及んでいることは間違いありません。しかしながら令和3年度は令和2年度と異なるところもあり、「コロナ禍」での継続的且つ不安定な情勢の影響を感じつつも、施設をご利用いただけるご利用者様の戻り、と言う変化を実感できる期間ともなりました。</p> <p>私達は引き続き、駐輪スタッフや施設の感染対策を徹底しながら、この変化に伴う方策の実施やサービス提供を適宜行うことで、施設の設置目的や社会的責任を果たしてきました。また、さいたま市との連携をより密にして、安全で適切な施設環境を目的とした計画的修繕等を積極的に提案、実施することでも自転車駐車場の継続的な運用に努めてきました。</p> <p>令和3年度中では、令和2年度に見られました「定期利用者の減少と一時利用者の増加」という現象が、年度末に向かうにつれて収まり、コロナ禍前の状況に近づく変化が生じ、定期利用者の増加と一時利用者の一定数の増加といった推移が確認できました。これら変化を見極めて、本社スタッフと駐輪場スタッフが密に連携しその時々での情報を共有しながら、これまで実施してきた定期未使用区画の一時利用への転用による利用促進や(与野駅西口臨時自転車駐車場)、弊社の定期管理システム(ECOPOOL)の利用促進を行いました。</p> <p>南与野第一自転車駐車場では人流増加に伴い、定期利用区画が満車となりました。その為、南与野第一自転車駐輪場の定期利用をご希望される皆様には、利用者の増加により契約までには時間を要すること、南与野第二自転車駐車場の定期利用には空きがあり、即時契約が可能である現状を現場スタッフ並びに弊社サポートセンターでも共有し、24時間365日これらの事情をお伝えできる体制を構築したことで、利用促進につなげました。</p> <p>これら情報の蓄積と連携、創意工夫の積み重ねにより前年度売上を2%上回る結果を得ることができたと考えています。</p> <p>各施設の定期点検より把握した不具合やその兆候、または、係員の日常的な目視点検により把握した不具合、ご利用者様より寄せられたご意見等を踏まえ、対症療法による修繕や予防保全の観点から行う計画的修繕、清掃(設備・床など)を適宜実施し施設の維持管理に努めました。このような体制の中にあり、南与野第一自転車駐車場においては照明支柱が傾いている状況をスタッフが確認でき、当日中の対処にて(支柱の切断工事)危険を回避することができました。また同形態4施設の危険箇所をさいたま市と確認のうえ、緊急補強工事を施工しました。その後、4施設の照明改善工事案と見積提出に協力した結果、さいたま市にて4施設全ての照明を改修工事していただきました。</p> <p>令和4年度も引き続き、「コロナ禍」ほか様々な要因による影響もあるかとは思いますが、何よりもさいたま市やシルバー人材センターとの連携のもとで、実行中の対策や対応を継続するとともに、常に最新の情報に意識を向けて、安全で適切な自転車駐車場運営と、住民サービスの向上に努めてまいります。</p>
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:都市局都市計画部自転車まちづくり推進課)

総合評価 **(B)** ※A~D

利用者への公平公正な対応、利用者サービスの向上、利用状況分析による臨機応変な現場対応、利用促進に努められていた。特に、各施設における稼働状況を精査し、利用状況に応じて一時利用と定期利用の収容台数を変更することでサービスの向上に努めた。

管理経費については、情勢に応じた運用を行い、経費節減が十分に図れていた。

施設管理については、清掃や設備の点検を行うとともに、利用者アンケートや要望を踏まえニーズに応じた施設修繕業務を行い、施設の維持管理に十分に努められていた。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、安心安全な施設の管理・運営に努められたい。